

事業開始時の様子

1) これまでの妊産婦支援



これまでに実施してきたシリア難民妊産婦支援で生まれた赤ちゃんとお母さん。産婦検診が安全な出産に繋がったことから、本事業でも定期検診を含む妊産婦サポートを実施。

2) 事業地



Darshakran Campは、都市エルビルから50分程離れており、周辺には街や公共施設などない。そのため、キャンプ内のクリニックで治療できない難民は、都市の病院やクリニックまで行く必要がある。

3) キャンプ内のクリニック



Darshakran Camp内のクリニック。婦人科医はおらず、助産師が通っている。母子保健に関するパンフレット作成についての話し合い。



Kawergosk Camp のクリニックにいる婦人科医。エコーなどの検査機器がないため、適切な検診ができないと話す。

4) 妊産婦さんの様子



公立の産科教育病院での検診風景



難民キャンプで妊産婦を対象に聞き取り調査